

ONO SOKKI

DS-0223 リアルタイムオクターブ

ユーザ定義ウィンドウの設定方法



株式会社 小野測器

DS-0223 ユーザ定義ウィンドウの設定方法

ユーザ定義ウィンドウの設定方法を、次の測定条件の例で説明します。

■測定条件

- ・ユーザフィルタを 500Hz バンドを+30dB にします。(他バンドは 0dB のまま)
- ・ユーザフィルタでピンクノイズ、20 s のパワー平均測定を行います。

■操作手順

(1) **入力** → **ユーザフィルタ設定** を開き、 図 1 参照

(1-1) 次の項目を設定します。

- ・上限の項 : 50dB (データウィンドウの Y 軸上限値の変更用)
- ・レンジの項 : 100dB (データウィンドウの Y 軸幅スケール変更用)
- ・オクターブの項 : 1/3 を選択
- ・F. レンジの項 : High を選択

(1-2) データウィンドウの 500Hz の位置にマウスを合わせ、左クリックします。

縦線のマークが表示されます。

(1-3) Y 軸のスクロールバーを上昇させ、設定値欄の表示を +30dB に調節します。

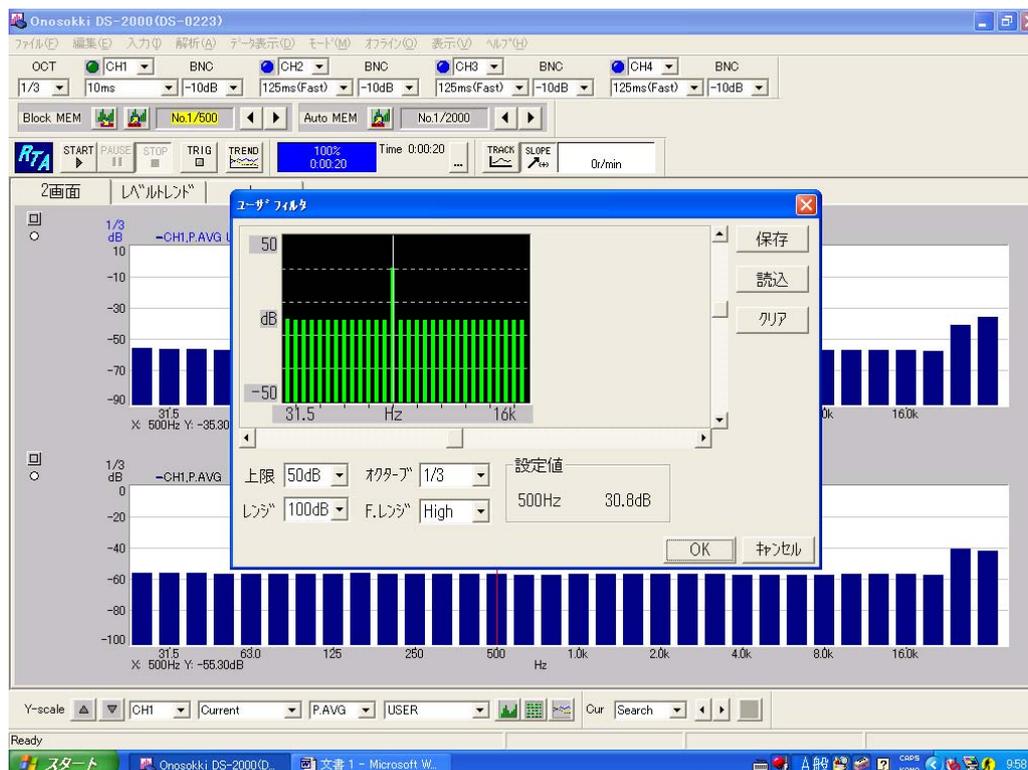
(1-4) 「保存」ボタンを押し、任意のファイル名を付して保存します。

(1-5) 「読込」ボタンを押し、保存されたファイル名を指定し、ユーザフィルタを読み込みます。

読み込まれたユーザフィルタがデータウィンドウに表示されます。

(1-6) 「OK」ボタンを押し、設定を確定します。

<図 1 ユーザフィルタの設定>



(2) **入力** → **計測条件設定** を開き、次の各ページの各項目を選択設定し、「OK」ボタンを押し確定します。

- ・オクターブ： オクターブフィルタ： 1/3oct 、周波数レンジ： High
- ・入力： 入力信号に合わせた設定
- ・時定数： 測定目的に合わせた時定数選択、アナログフィルタ： FLAT

(3) **入力** → **計測時間設定** を開き、計測時間：20s に設定し「OK」ボタンを押し確定します。

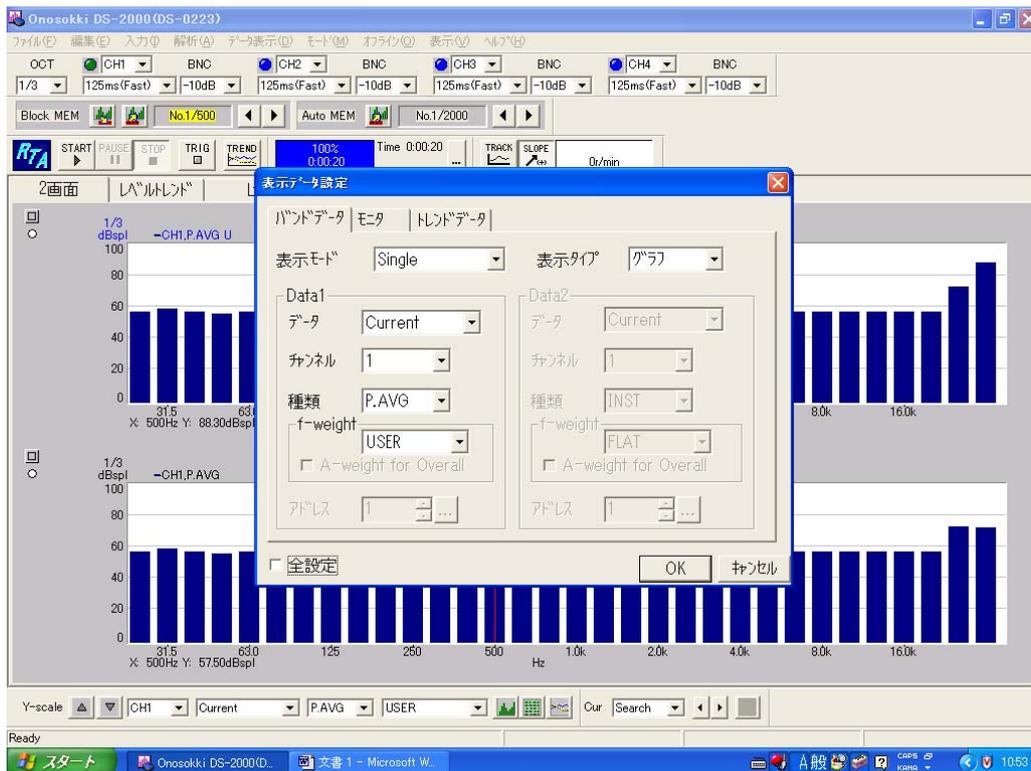
(4) 2画面表示の場合、上画面をアクティブ（下画面のデータをマウスでクリックする）にし、**データ表示** → **表示データ設定** のページを開き、次の各項目を設定し

「OK」ボタンを押し確定します

図 2 参照

- ・表示モード： Single
- ・表示タイプ： グラフ
- ・データ： Current
- ・種類： P.AVG
- ・ f-Weight： USER

<図 2 表示データ設定>



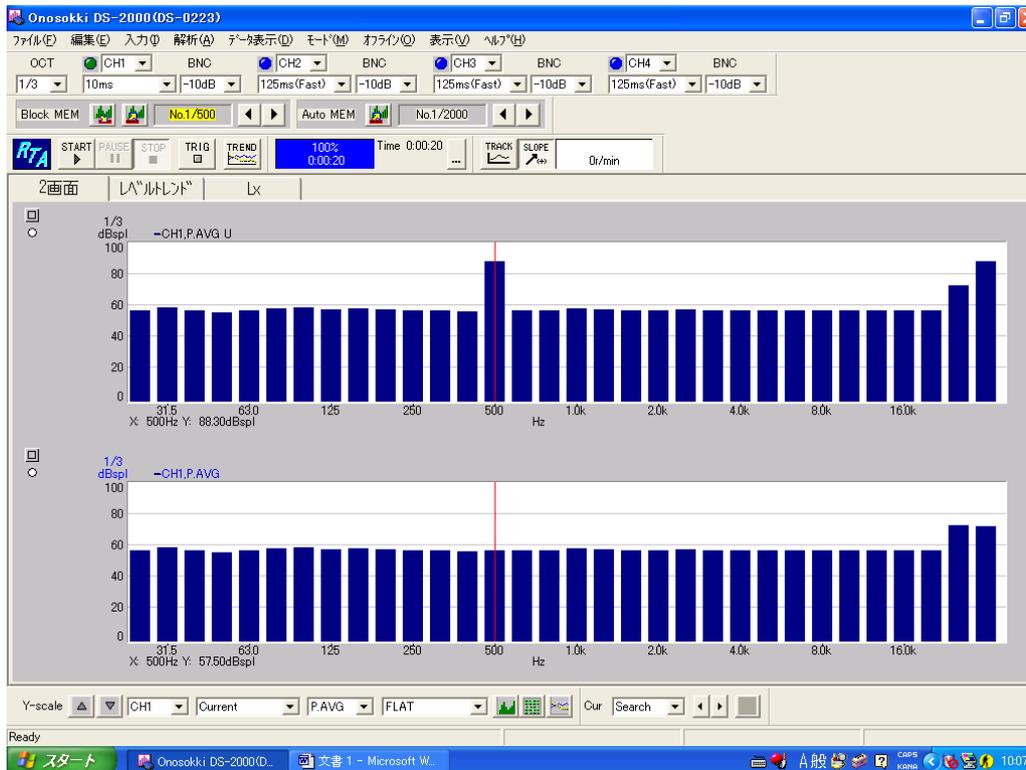
(5) START ボタンを押し計測を開始します。

図 3 は次の条件でパワー平均 20s 測定したデータを示します。

- ・入力信号： ピンクノイズ
- ・上画面： ユーザフィルタでの測定結果
- ・下画面： フィルターFLATでの測定結果

下画面の表示条件の設定は、下画面をアクティブにして（４）と同様に f-Weight : FLAT に設定します。

<図 3 ユーザフィルタによるピンクノイズ信号の測定>



（注意）

上画面で ALLPASS と OVERALL の値が違っているのは、ユーザフィルタの影響によります。

— 以上 —